

# グローバル企業のWEBガバナンス基盤 としてのDrupal





## 田口 健

- デジタルサーカス(株) 団長
- Drupalの日本国内の普及・啓蒙をビジネスとして推進

Twitter: @KenTaguchi

Blog: <http://blog.livedoor.jp/dgcircus/>



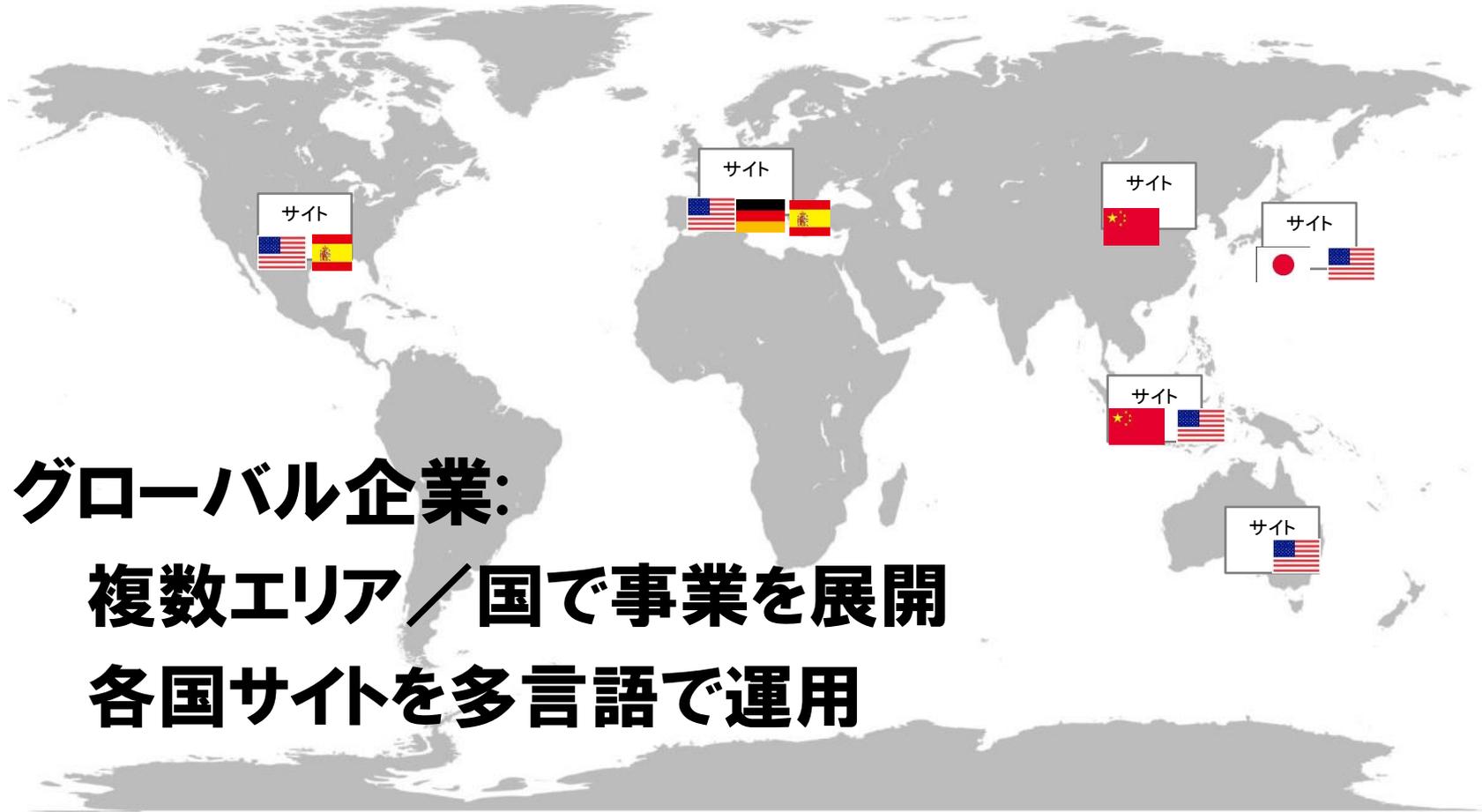
<b>設立</b>	<b>1999年2月</b>
<b>WEB</b>	<b><a href="https://www.dgcircus.com/">https://www.dgcircus.com/</a></b>
<b>従業員数</b>	<b>35名</b>
<b>事業内容</b>	<b>Drupalの導入・カスタマイズ・ 保守サポート</b>

- 2008年よりDrupalのカスタマイズ開発を開始
- 日本のDrupalサポーティングパートナー第一号



# ▶ 本セッションのテーマ

## グローバル企業のWEBガバナンス基盤としての Drupal



**グローバル企業:  
複数エリア／国で事業を展開  
各国サイトを多言語で運用**



# ▶ グローバル企業のWEBガバナンス課題

各国でバラバラにWEBサイトを運用→ガバナンス欠如

- 投資/ノウハウの分散
  - ・ 各国で異なるシステムを利用→ライセンス費用発生
  - ・ 各地で行っている運用を本社が把握できない
- ブランドイメージの不統一
  - ・ そもそも統一されたブランド戦略が無い
  - ・ 戦略はあるが守られてない
- 非効率なワークフロー
  - ・ コンテンツのレビュー依頼や承認はメール/電話で実施
  - ・ コンテンツ掲載に時間がかかる/誤りが発生する



## WEBガバナンスを利かせるための共通コンテンツプラットフォームの要件

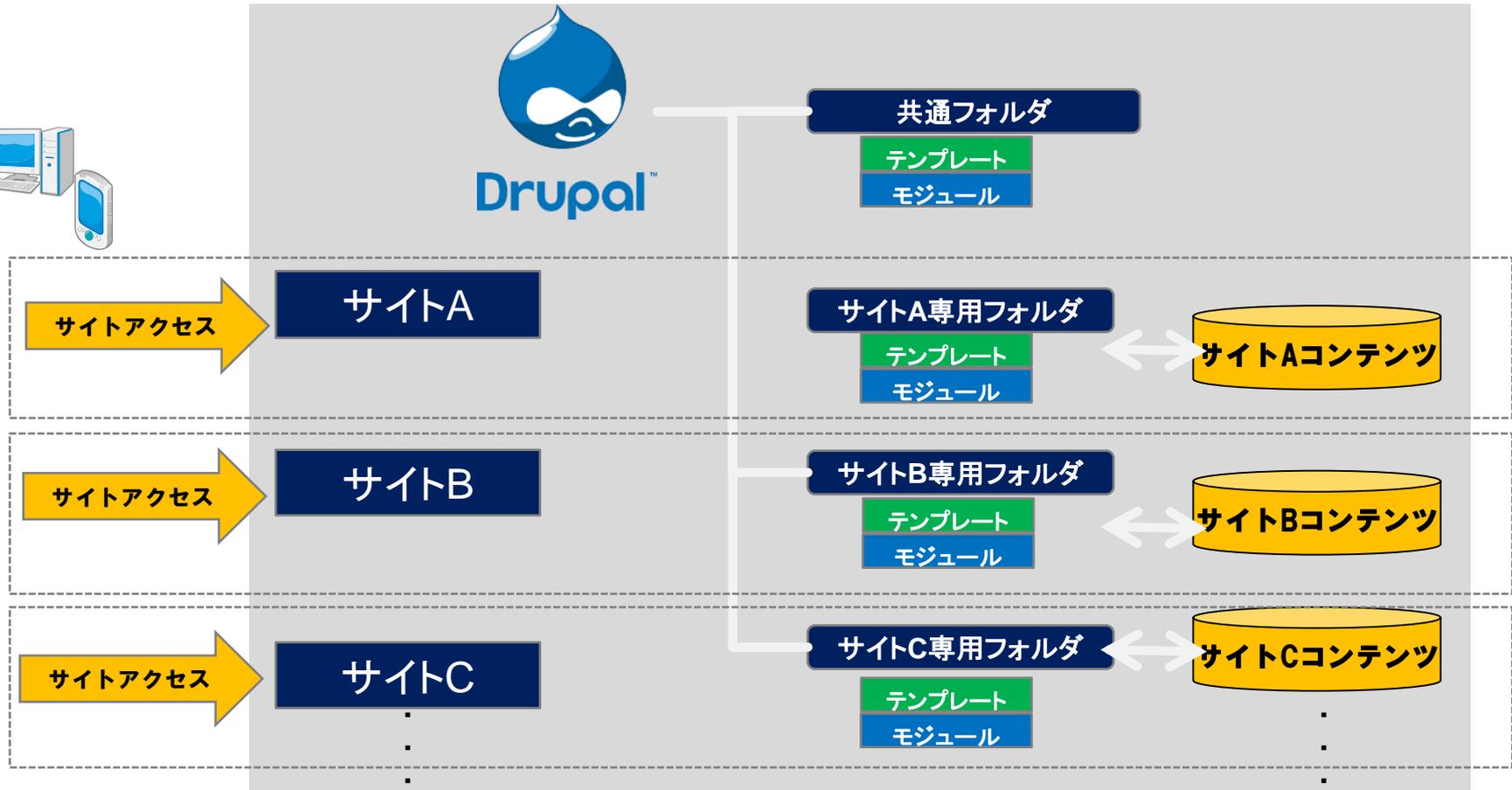
- 効率的なコンテンツ運用の仕組み
  - ・コンテンツの共有
  - ・堅牢かつ効率的なワークフロー
- ブランド管理
  - ・UI/UXの統合管理
  - ・各国ユーザー権限に応じた編集制限
- 費用対効果
  - ・コスト削減につながるライセンス体系





# ▶ Drupalのマルチサイト機能

- 異なるドメインを持つ複数のサイトをひとつのDrupalで管理できる
- プログラムを一元管理し、データベースは各サイトごとに持つ構造
- 機能は共有しながらコンテンツはサイトごとに設置することが可能





## ▶ 多言語展開

- ひとつのDrupalで複数言語で表示される多言語WEBサイトを構築可能（サイト×言語）
- 世界中で100か国以上の言語に対応

### Drupalが対応している言語

アフガニスタン・ペルシャ語 / アフリカーンス語 / アルバニア語 / アムハラ語 / アラビア語 / アルメニア語 / アッサム語 / アストゥリアス語 / アゼルバイジャン語 / マレー語 / バスク語 / ベラルーシ語 / ベンガル語 / ボスニア語 / ブルガリア語 / ビルマ語 / カタロニア語 / 中国語(簡体字) / 中国語(繁体字) / クロアチア語 / チェコ語 / デンマーク語 / オランダ語 / ゾンカ語 / 英語(英国) / エスペラント語 / エストニア語 / フェロー語 / フィリピン語 / フィンランド語 / フランス語 / フリジア、西 / ガリシア語 / ジョージアン語 / ドイツ語 / ギリシャ語 / グジャラート語 / ハイチ語 / ヘブライ語 / ヒンディー語 / 香港広東語 / ハンガリー語 / アイスランド語 / インドネシア語 / アイリッシュ語 / イタリア語 / 日本語 / ジャワ語 / カナダ語 / カザフ語 / クメール語 / キニヤルワンダ語 / 韓国語 / クルド語 / キルギス語 / ラオ語 / ラトビア語 / リトアニア語 / ロルスピーク語 / ルクセンブルグ語 / マケドニア語 / マダガスカル語 / マラヤーラム語 / マルタ語 / マオリ語 / マラーティー語 / モーリシャスクレオール語 / モンゴル語 / ネパール語 / 北サーミ語 / ノルウェー語(ブークモール) / ノルウェー語(ニーノシュク) / オック語 / オリヤー語 / オセチア語 / パシュトウ語 / ペルシャ語 / ポーランド語 / ポルトガル語(ブラジル) / ポルトガル語(インターナショナル) / ポルトガル語(ポルトガル) / パンジャブ語 / ロヒンギヤ語 / ルーマニア語 / ロシア語 / スコットランド語 / スコットランドゲール語 / セルビア語 / シンド語 / シンハラ語 / スロバキア語 / スロベニア語 / ソマリ語 / スペイン語 / スワヒリ語 / スウェーデン語 / スイスのドイツ語 / タミル語 / タミル語(スリランカ) / テルグ語 / タイ語 / チベット語 / ティグリアニア語 / トルコ語 / トゥバ語 / ウィグル語 / ウクライナ語 / ウルドゥー語 / ベトナム語 / ウェールズ語 / イディッシュ語



# ▶ 共通コンテンツプラットフォームの運用方針

## 共通プラットフォームの運用にあたり、地域ごとのローカライズをどこまで認めるか方針を決める必要がある

日本



アメリカ



欧州



中国



### 共通コンテンツプラットフォーム





# ▶ 共通プラットフォーム設計

- **ドメイン戦略**
- **ロケーション戦略**
- **利用者管理設計**
- **ブランド管理設計**
- **コンテンツ共有設計**
- **サービス連携設計**



# ▶ ドメイン戦略

## 各国サイトで使用するドメインを複数ある方式からメリット/デメリットを判断したうえで選択する

方式	例	メリット	デメリット
国別ドメイン	www.example.jp/en/ www.example.de/en/	URLから地域を判別可能=地域ターゲティングが容易  サーバを分割しやすい	ドメインのブランド価値の分散  サイト間のCookie共有ができない
サブドメイン	jp.example.com/en/ de.example.com/en/	サーバを分割しやすい  サイト間のCookie共有が可能	ドメインのブランド価値の分散  URLから地域を判別しづらい
サブディレクトリ	www.example.com/jp/en/ www.example.com/de/en/	ドメイン価値の一元化  サイト間のCookie共有が可能	URLから地域を判別しづらい  サーバを分割しづらい



# ▶ 共通プラットフォーム設計

- ドメイン戦略
- **ロケーション戦略**
- 利用者管理設計
- ブランド管理設計
- コンテンツ共有設計
- サービス連携設計



# ▶ ロケーション戦略

## 共通プラットフォームのサーバー設置場所

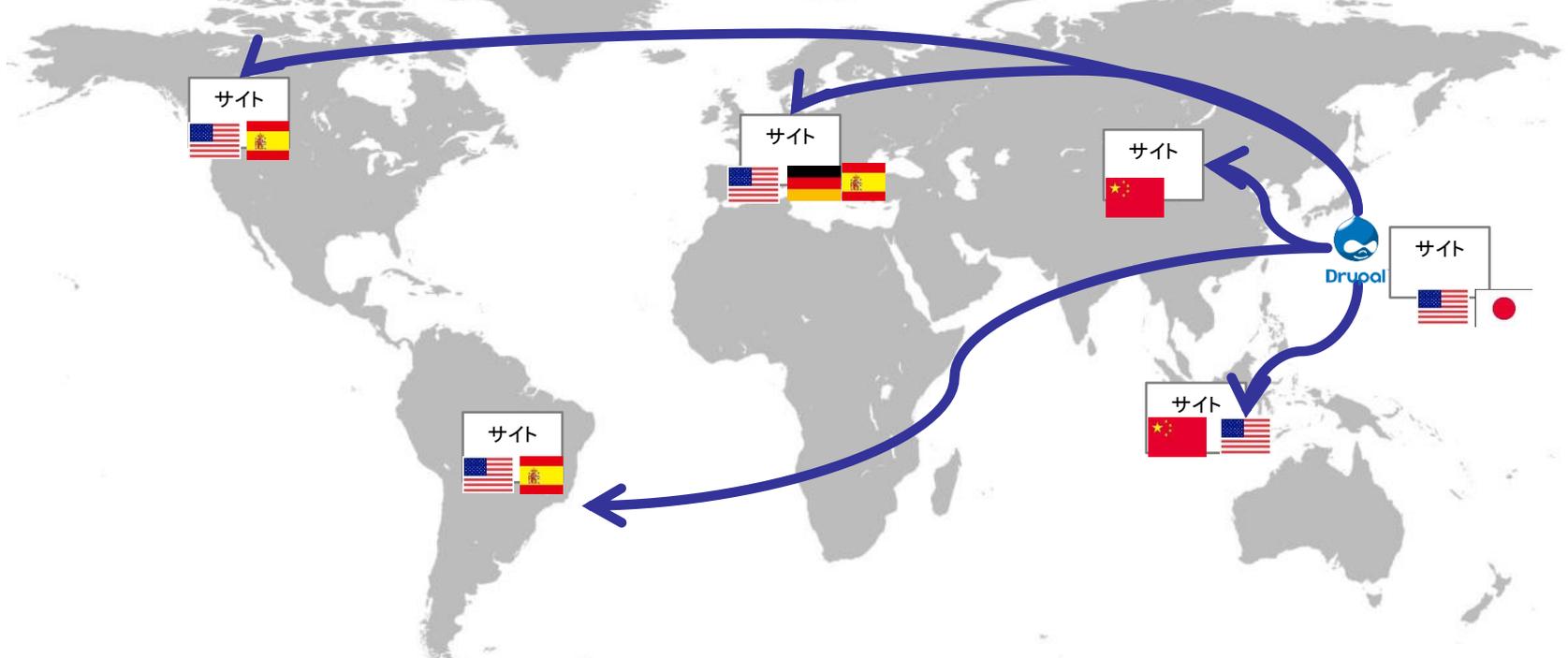
⇒ 各国の利便性 / データ管理要件を検討し選択

		ロケーション	
		1箇所に集中	各エリアに分散
検討 ポイント	アクセス速度	△	◎
	法制度対応	△	◎
	管理コスト	◎	△
	インフラコスト	◎	△



# ▶ ロケーション戦略：統合モデル

1箇所(例：日本)にサーバを集約しContent Delivery Network経由で各国サイトにコンテンツ配信する。



## メリット

(日本に設置した場合)日本からアクセスしやすい  
サーバ投資を1箇所に集中できる

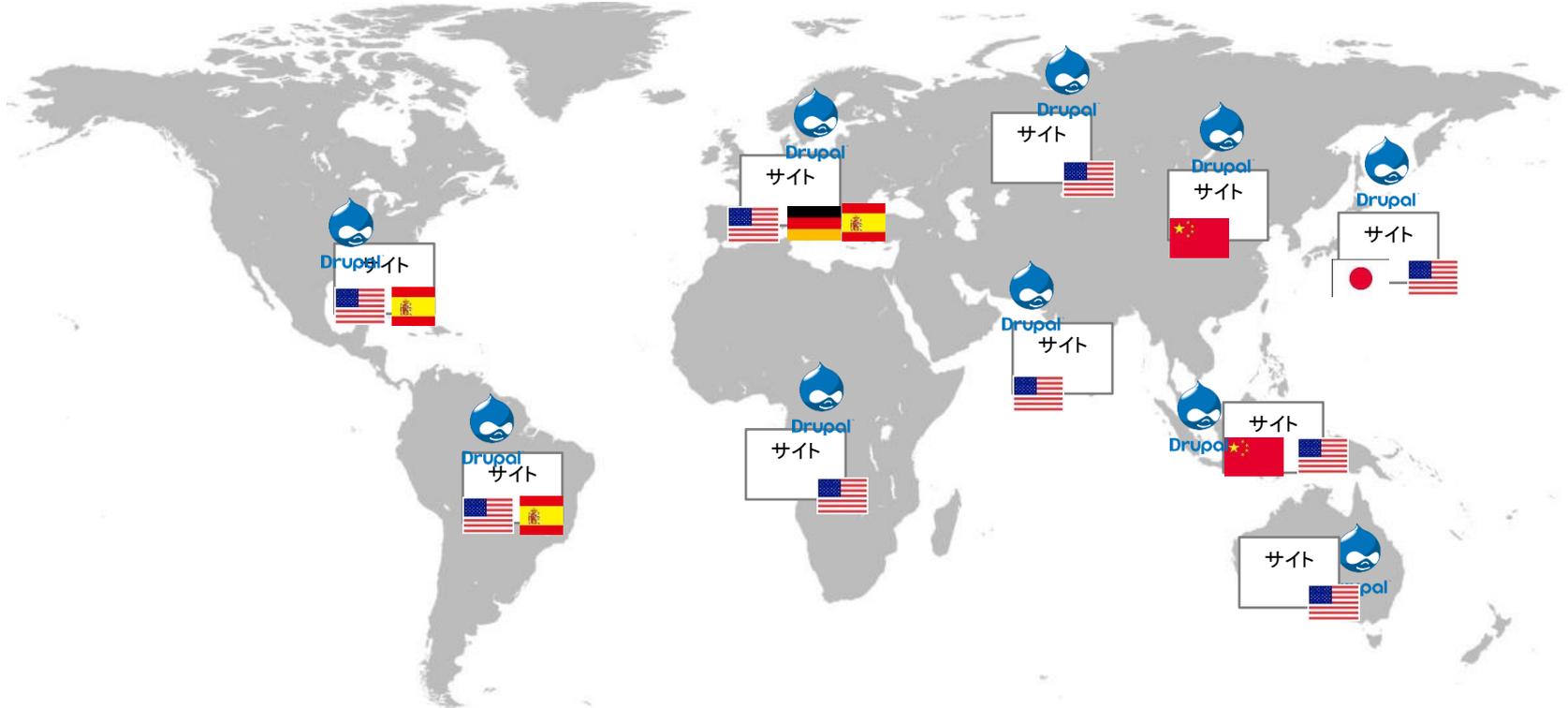
## デメリット

海外(特に欧州)からのアクセスが遅い  
GDPRなど地域/国ごとの法制度に対応しづらい



# ▶ ロケーション戦略：分散モデル

## 各サイト単位でサーバを設置する

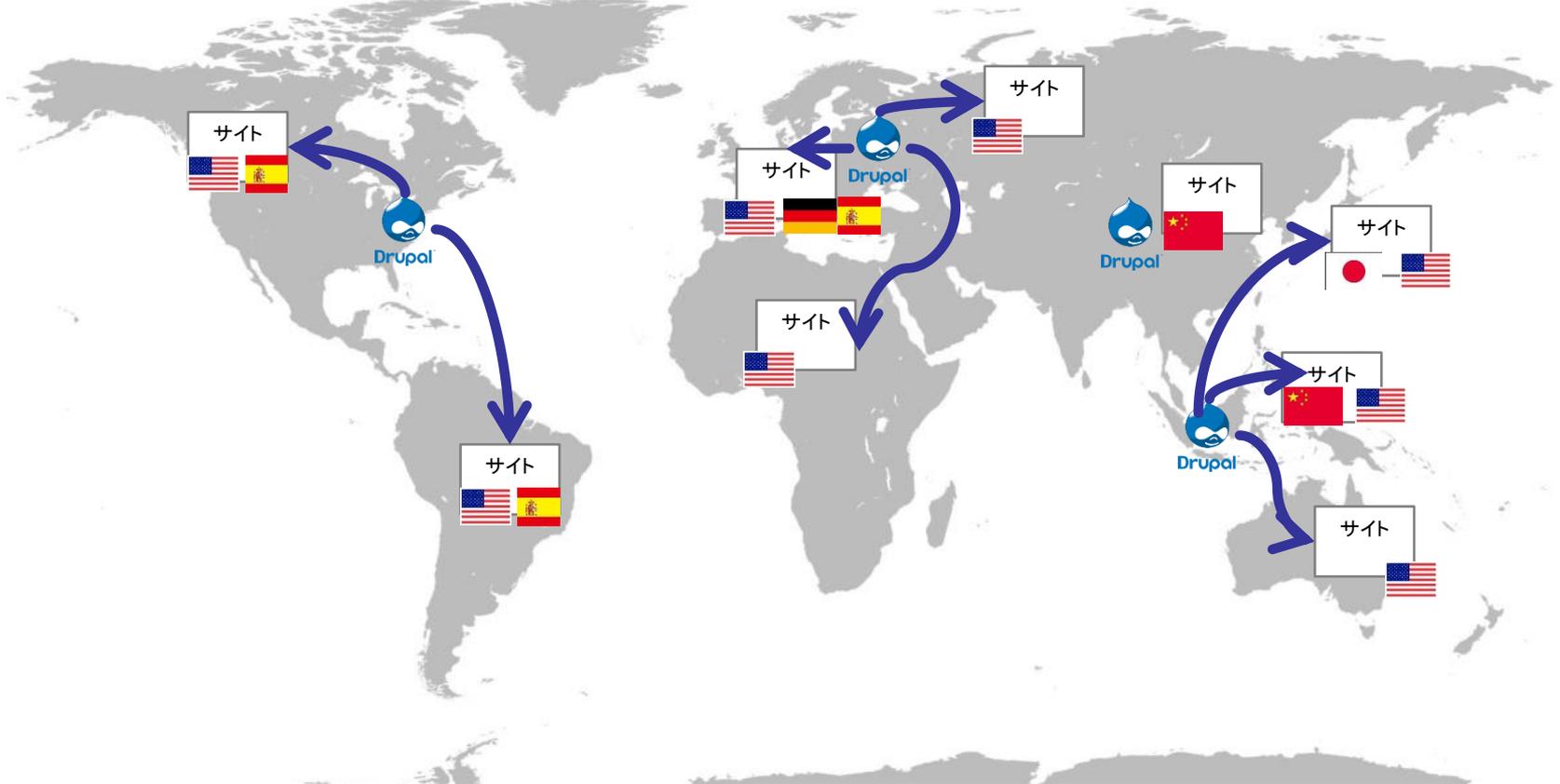


メリット	デメリット
各国でのアクセス最適化 国ごとの自由度UP	サーバ管理が煩雑 国ごとのインフラコスト負担



# ▶ ロケーション戦略：リージョンモデル

## リージョン単位でサーバを設置する



### メリット

リージョン内でのアクセス最適化  
リージョンごとの法制度に対応可能

### デメリット

リージョンごとのサーバ管理の手間  
リージョンごとのインフラコスト負担



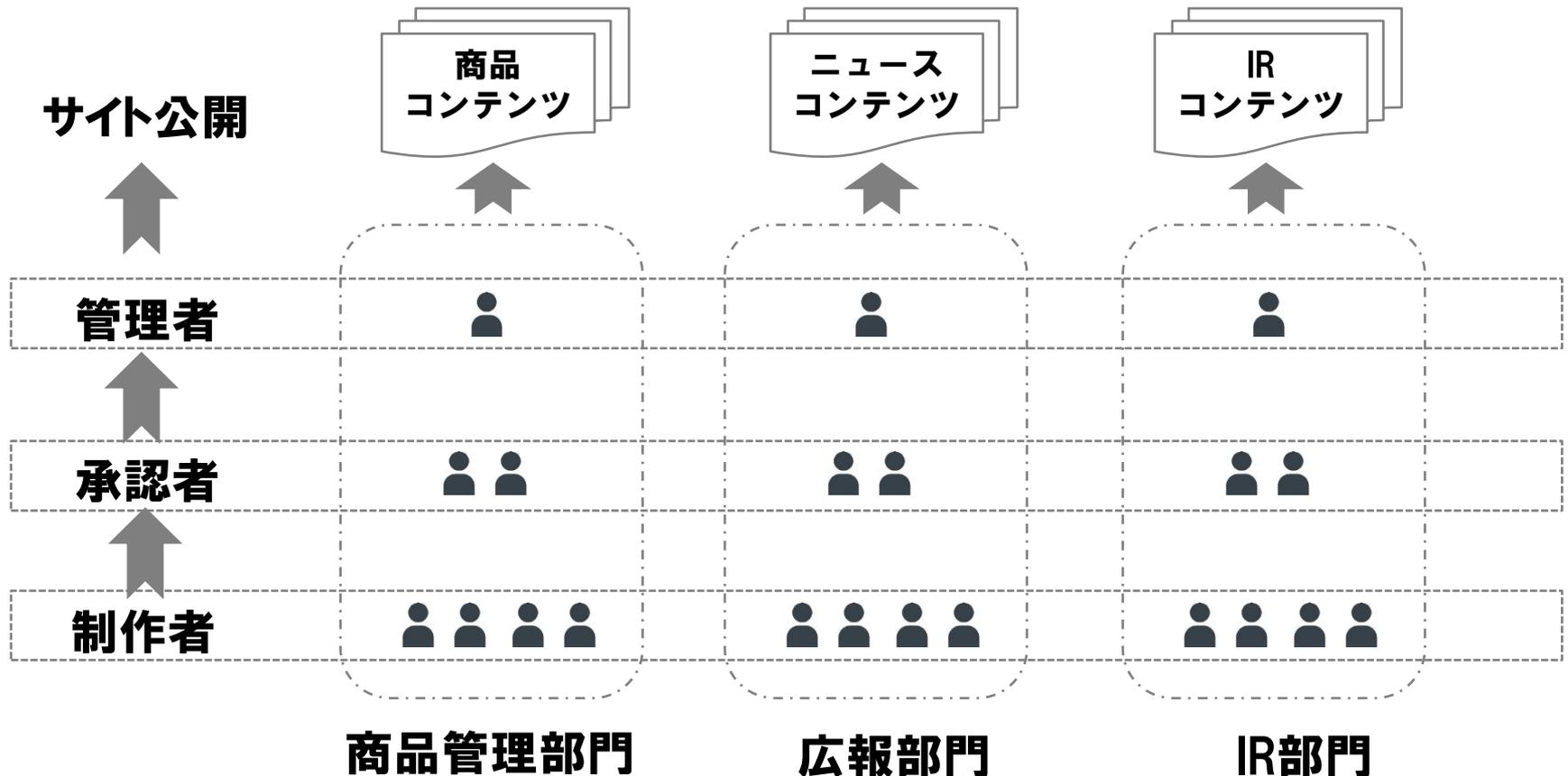
# ▶ 共通プラットフォーム設計

- ドメイン戦略
- ロケーション戦略
- **利用者管理設計**
- ブランド管理設計
- コンテンツ共有設計
- サービス連携設計



# ▶ 利用者管理

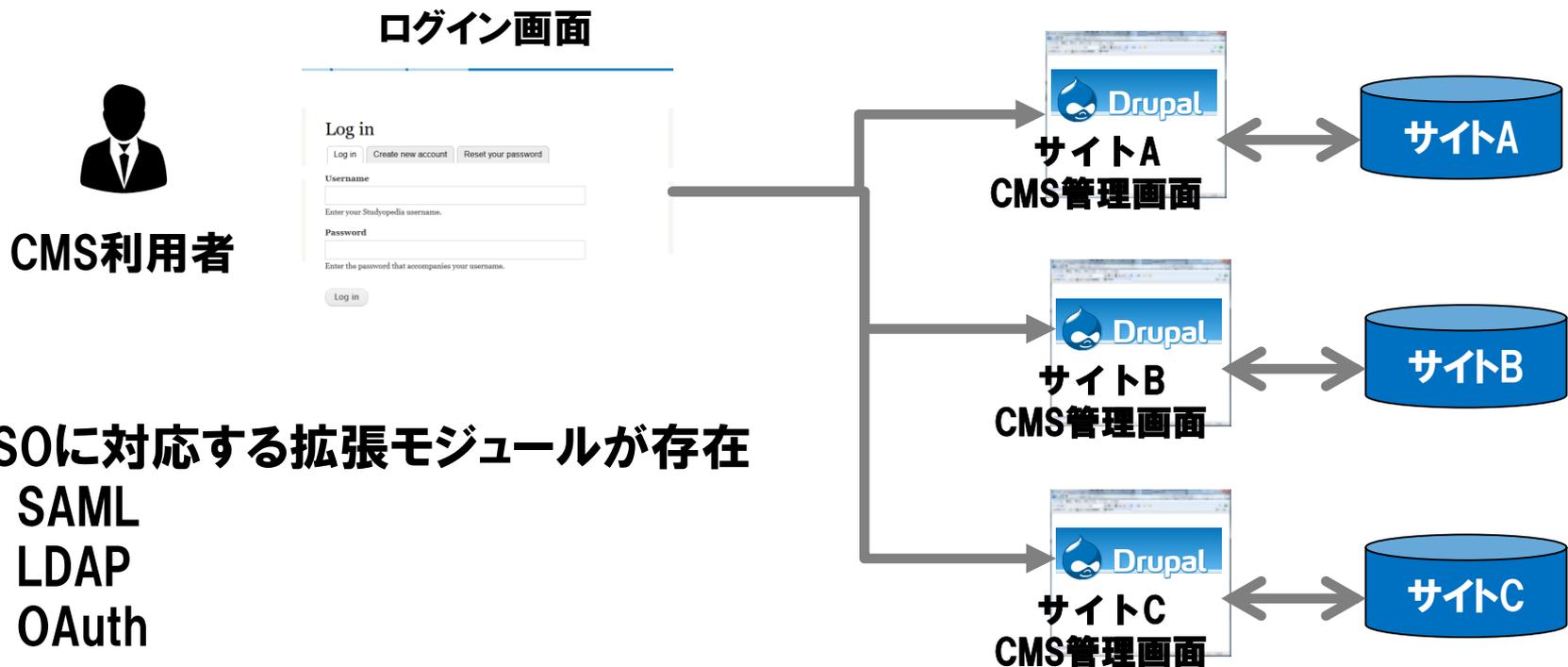
## CMS利用者(ユーザ)の権限を役割と所属組織の二軸で管理する





# ▶ 利用者統合認証

- Drupalの管理ユーザーアカウントは各サイトごとにデータベース保存される(各サイトごとのアカウント管理)
- 複数のサイトを管理する利用者に対して、1回の認証で各サイトにシングルサインオンする仕組みを提供可能





# ▶ 共通プラットフォーム設計

- ドメイン戦略
- ロケーション戦略
- 利用者管理設計
- **ブランド管理設計**
- コンテンツ共有設計
- サービス連携設計



## ▶ ブランド管理設計

グローバル共通のUI/UXを定義し、各ユーザー権限に応じ編集領域を制限する。

1. ガイドラインの規定
2. サイトテンプレート定義
3. コンテンツ制作作用の部品定義



# ▶ ガイドラインの規定

## 各サイトが従うべきUI/UXの共通ルールを定義

- 各国サイト訪問者にブランドで統一されたユーザー体験を提供
  - 共通のLook&Feel
  - ブランドガイドライン>デザインガイドライン>スタイルガイドライン

### COLOR PALETTE



### TYPOGRAPHY

#### Header 1

Font: Montserrat Bold / Color: #000000

#### HEADER 2

Font: Montserrat Bold / Color: #000000

#### HEADER 3

Font: Montserrat Bold / Color: #000000

#### HEADER 4

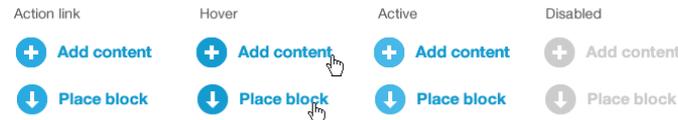
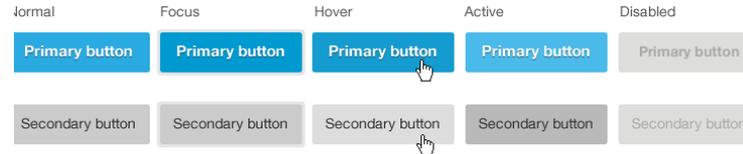
Font: Montserrat Bold / Color: #000000

#### Header 5

Font: Montserrat Bold / Color: #000000

This is Body copy. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Praesent eu semper ligula, nec fermentum odio. Aenean non blandit neque, ac accumsan nibh. Morbi elementum neque id sodales blandit. Morbi eget turpis in urna sodales pharetra. Aenean quis pulvinar lacus, sed lacinia sem.

This is an inline link. [Link](#)



### Examples

Here are some good examples that apply the above guidelines:

```
// Example of good basic formatting practices
.styleguide-format {
  color: #000;
  background-color: rgba(0, 0, 0, .5);
  border: 1px solid #000;
}

// Example of individual selectors getting their own lines (for error reporting)
.multiple,
.classes,
.get-new-lines {
  display: block;
}

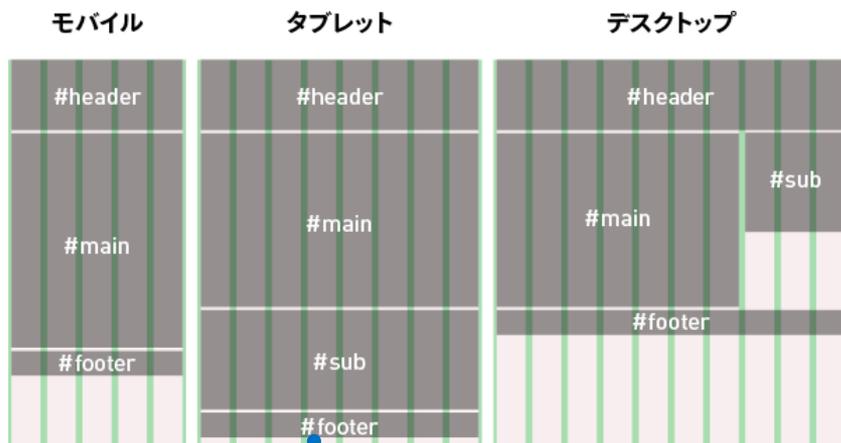
// Avoid unnecessary shorthand declarations
.not-so-good {
  margin: 0 0 20px;
}
.good {
  margin-bottom: 20px;
}
```



# ▶ 共通テンプレート定義

## スタイルガイドラインに従い共通テンプレート定義

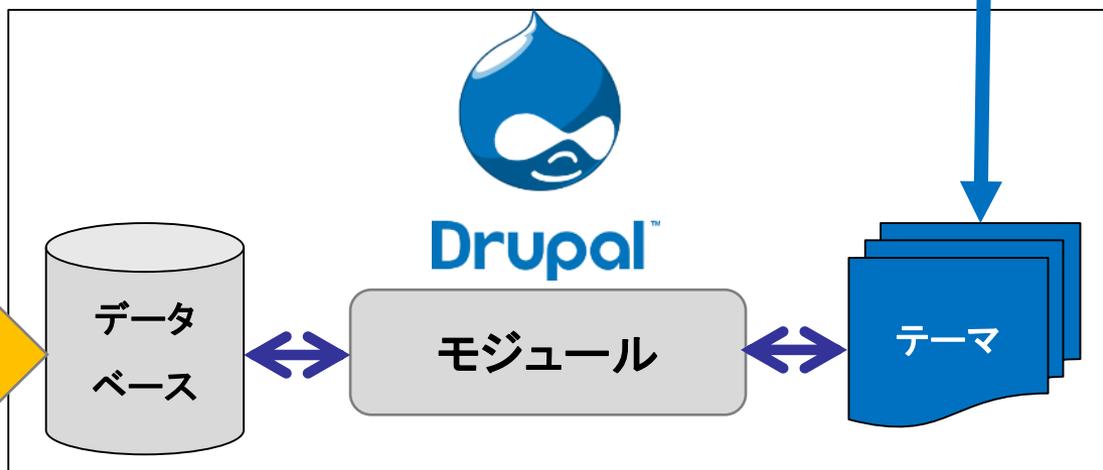
- 各サイトがそのまま利用できる共通テーマ(テンプレートファイル)を設定
  - マルチデバイス対応
  - ヘッダー/フッターレイアウトの定義
  - コンテンツエリアの定義



サイト管理者



コンテンツ更新



WEBユーザー



サイトサクセス





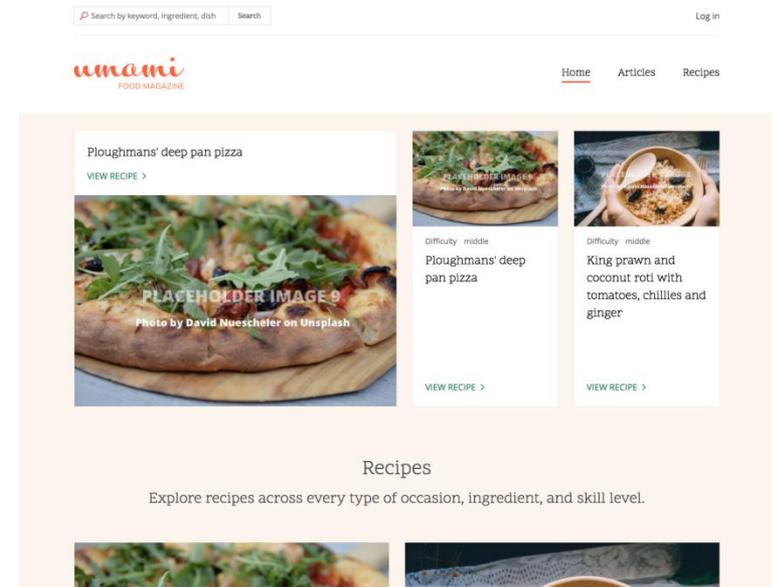
# ▶ コンテンツ制作作用の部品定義

## コンテンツ制作作用の部品 (Paragraph) 定義

- コンテンツ編集者がHTMLを入力せずコンテンツ作成が可能なように、コンテンツ制作作用の部品をデザインガイドラインのデザインコンポーネントに沿ってプリセット
  - バナー
  - カルーセル
  - イメージギャラリー
  - ...etc.



管理画面から部品 (Paragraph) を選択  
→テキスト入力+画像アップロード



ガイドラインに沿ったページ表示



# ▶ 共通プラットフォーム設計

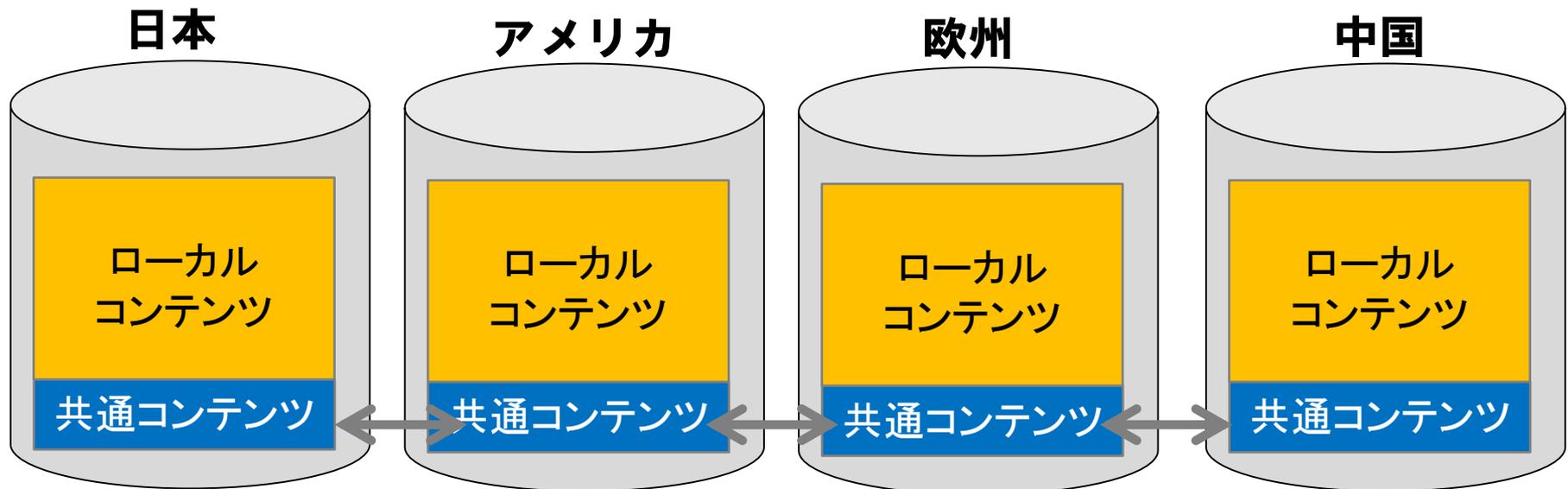
- ドメイン戦略
- ロケーション戦略
- 利用者管理設計
- ブランド管理設計
- **コンテンツ共有設計**
- サービス連携設計



## ▶ コンテンツ共有設計

Drupalのコンテンツは各サイトごとにデータベース管理される(各サイトごとのコンテンツ管理)

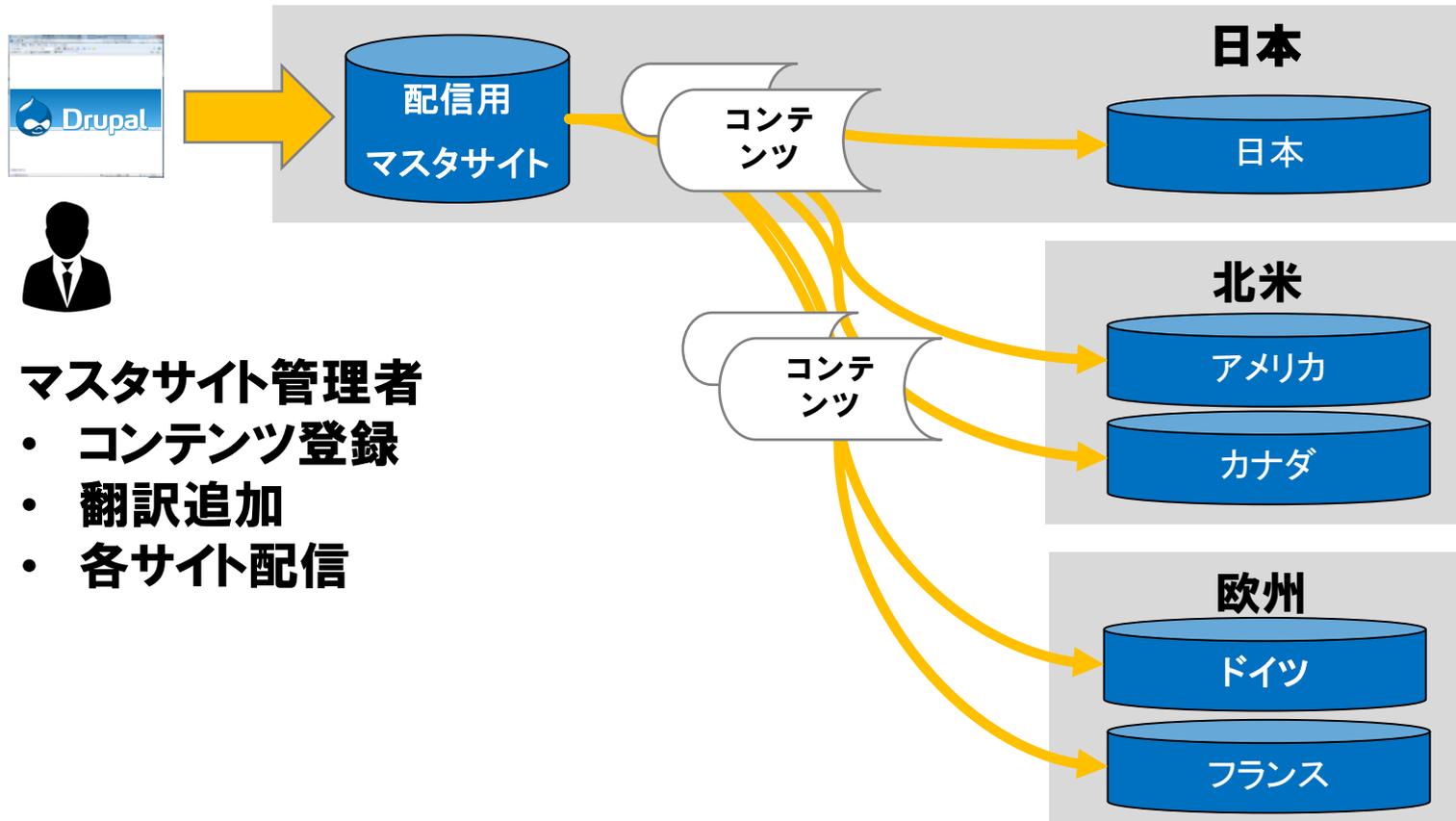
- 各サイトで一部のコンテンツを共有する仕組みを提供可能
  - ・ プレスリリース
  - ・ 企業情報
  - …etc.





# ▶ コンテンツ配信機能

## マスタサイトから共通コンテンツを各エリアサイトに配信する仕組み





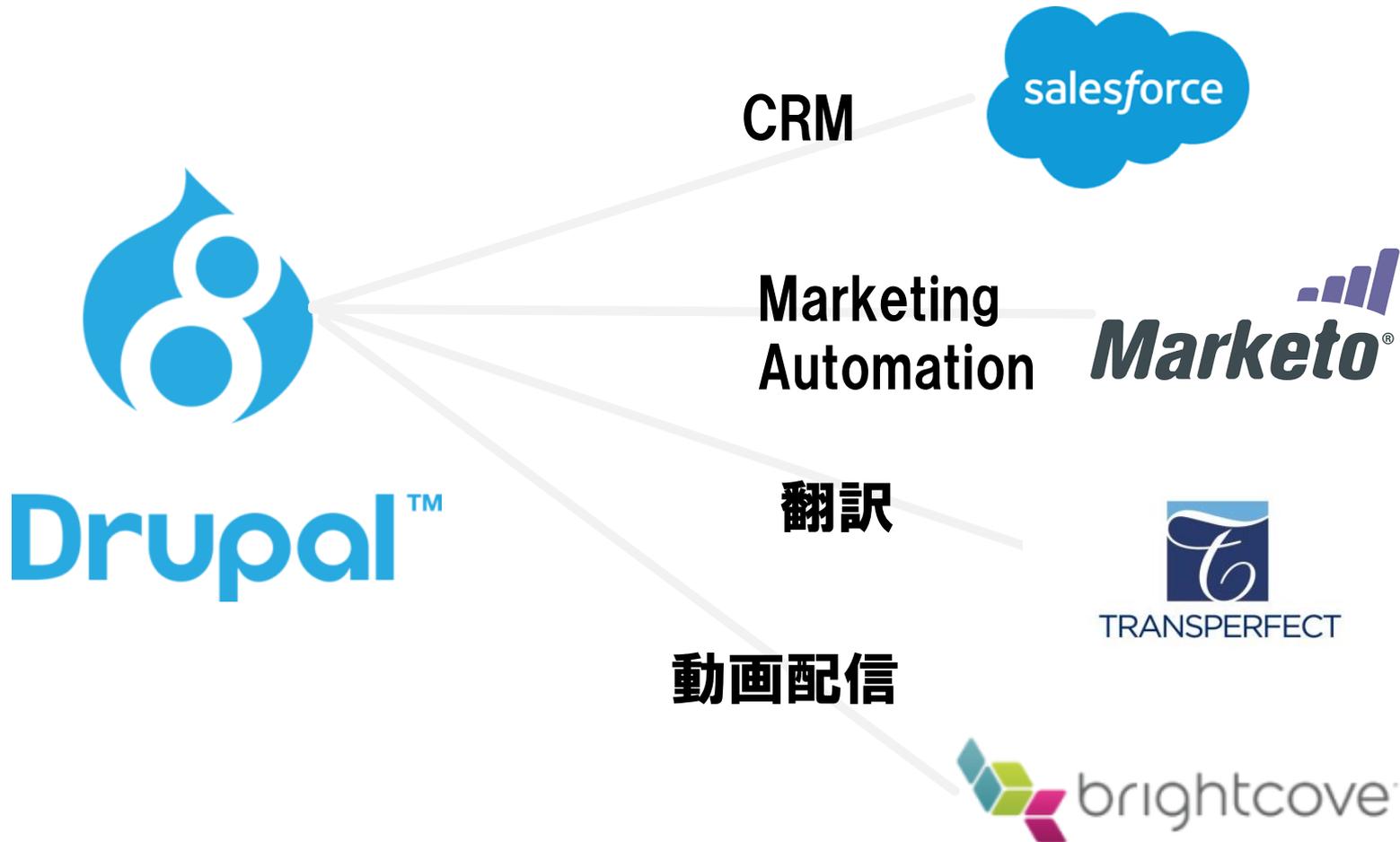
# ▶ 共通プラットフォーム設計

- ドメイン戦略
- ロケーション戦略
- 利用者管理設計
- ブランド管理設計
- コンテンツ共有設計
- サービス連携設計



# ▶ サービス連携設計

グローバル市場でメジャーな各種ソリューションプロバイダと連携してサービス提供が可能





# ▶ まとめ

- **Drupalはグローバル企業のWEBガバナンス基盤として最適なプラットフォーム**
  - 効率的なコンテンツ運用の仕組み
  - ブランド戦略を実現するためのUI/UX管理
  - コスト削減効果
- **共通プラットフォーム運用方針**
  - 地域ごとのローカライズをどこまで認めるか
  - 機能/デザイン/コンテンツの共通化範囲の規定
- **共通プラットフォーム設計**
  - ドメイン戦略
  - ロケーション戦略
  - 利用者管理設計
  - ブランド管理設計
  - コンテンツ共有設計
  - 連携サービス設計



ありがとうございました。

